

## 浚渫工事



① 浚渫

グラブ浚渫船で浅い箇所の土砂を取り去ります。濁り防止のため汚濁防止膜を設置しその中を浚渫します。



② 土運船運搬

土運船で揚土箇所まで運搬します。土運船は1回で1000m<sup>3</sup>以上の土砂を運搬できます。



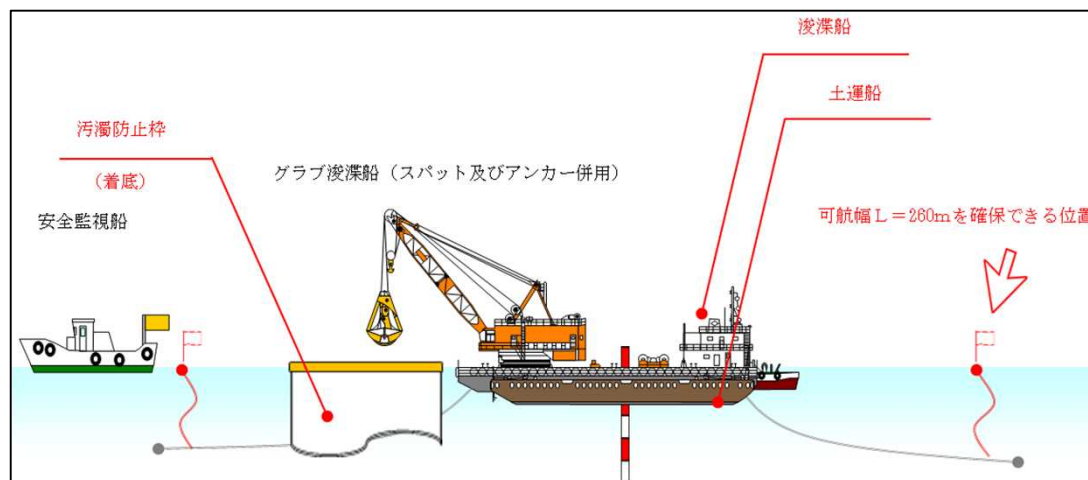
③ 起重機船揚土

起重機船で土砂を揚土します。揚土した土砂はダンプに積込、土捨て場に運びます。



④ 土捨て

土砂をダンプに積込後、土捨て場まで運搬し土捨てします。



浚渫工事イメージ図

# 長崎港予防保全事業(航路(-12m))の施工ステップ

R4.3時点

## 護岸改良工事



### ① 構造物撤去工

先行掘削、鋼管矢板打設に支障となる舗装版、上部工を撤去する。



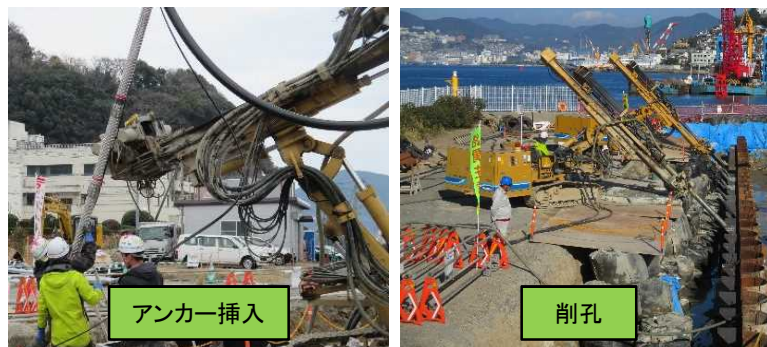
### ② 先行掘削

鋼管矢板打設箇所を先行して掘削し砂に置換



### ③ 土工

④、⑤、⑥に支障となる土砂を撤去



アンカー挿入

削孔

### ⑥ グラウンドアンカー工

新設する護岸を安定させるため鋼材を地盤に固定



### ⑤ 高圧噴射攪拌工

吸い出し防止対策として、超高圧硬化材噴射とそれに沿った空気噴流体によって、改良体を造成



### ④ 鋼管矢板打設

新設する護岸のライン上に鋼管矢板を打設



# 長崎港予防保全事業(航路(-12m))の施工ステップ

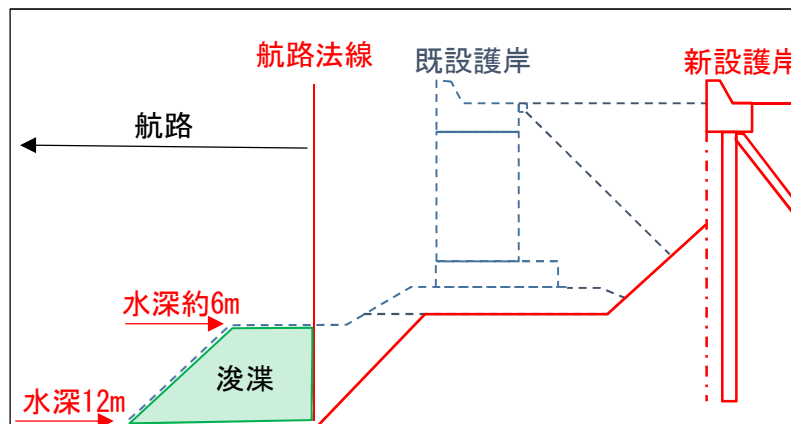
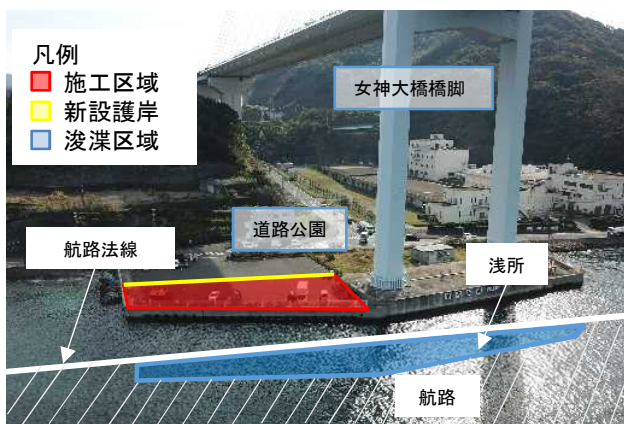
R4.3時点

## 護岸改良工事



## ⑦上部工

鋼管矢板の杭頭部にコンクリートを流し込み上部工を築造



護岸改良工事については、現在上部工まで完了しており、今後は新設護岸のライン上までの既設の護岸撤去が予定されています。